



有限会社 田島製作所

# エコアクション21 環境活動レポート

平成25年1月～12月の活動報告

2014年 平成26年3月24日

有限会社 田島製作所は、山形県を代表する蔵王連峰の麓、上山市新北浦工業団地に位置し、金属プレス、金型設計・製作及び金属プレス部品の加工・製作を行っています。

自然環境に恵まれた当地への本社・工場移転に際しては、「省エネルギー計画書」の審査を経た建造物を構築いたしました。又、設備及び材料においても可能な限り環境負荷の少ないものを使用するように配慮しています。

日増しに地球環境の悪化が伝えられる中、次世代のためにも持続可能な環境作りを今後とも続けていきたいと思っております。

## I. 組織の概要

- ①事業所名 : 有限会社 田島製作所
- ②代表者 : 代表取締役 田島 誠一
- ③所在地 : 〒990-3100 山形県上山市新北浦2-2
- ④TEL : 023-672-1455
- ⑤FAX : 023-672-1450
- ⑥E-mail : [tjm@pressya.com](mailto:tjm@pressya.com)
- ⑦事業の概要 : 金属プレス、金型設計・製作及び金属プレス部品の加工・製作
- ⑧敷地面積 : 3,960㎡ 延べ床面積 : 2,970㎡
- ⑨従業員数 : 33人
- ⑩環境管理責任者 : 海谷 和徳

## II. 環境方針

### 環境方針

田島製作所は、地球に存在する企業であることを自覚し、省エネ、省資源を意識した生産活動の中で地球と社会に資産を残す目的と会社の永遠の存続を意識し、積極的に環境の保全に努めます。

1. 二酸化炭素排出量、廃棄物排出量及び総排出量及び化学物質使用量削減を継続的に実施し、且つ、事業活動で生ずる環境負荷の削減とグリーン購入を推進します。
2. 環境関連の法規制等を遵守し、環境保全に努めます。
3. 環境保全の目的・目標を定め、さらなる向上に努めます。
4. この環境方針を全従業員に周知徹底し、環境に対する認識度を高め、実のある環境活動を推進します。
5. この環境方針を広く内外に公開し、取り組み経過等を環境活動レポートで適宜公表します。

平成19年11月1日

有限会社 田島製作所

代表取締役 田島 誠一

### Ⅲ. 環境目標

#### ①中長期目標

活動項目	基準年実績	平成26年度目標
二酸化炭素排出量の削減	231,132Kg-CO2	基準年(H22)比5%削減
総排水量の削減	566m3	基準年(H22)比5%削減
廃棄物排出量の削減	9,902Kg	基準年(H22)比5%削減
グリーン購入	29.74%	基準年(H23)比3%UP
化学物質使用量の削減	360Kg	基準年(H23)比3%削減
スクラップ(歩留率)	29.62%	基準年(H23)比3%削減

#### ②単年度(平成25年度)環境目標

活動項目	目標値
二酸化炭素排出量	221,887Kg-CO2(基準年比4%削減)
総排水量	543m3(基準年比4%削減)
廃棄物排出量	9,506Kg(基準年比4%削減)
グリーン購入	30.35%(基準年比3%アップ)
化学物質使用量	349Kg(基準年比3%削減)
スクラップ(歩留率)	28.73%(基準年比3%削減)

### Ⅳ. 環境活動計画

活動項目	責任者	取組内容
電力使用量の削減	奥村 晃	<ul style="list-style-type: none"> <li>電力使用管理体制の整備</li> <li>夜間のブレーカー遮断</li> <li>設備能力の適正使用 ・設備の定期点検</li> <li>設備消耗部品の適正交換</li> <li>空調機器の適正運転管理(適切な温度設定、フィルター掃除)</li> <li>デマンド管理装置の設置と管理</li> </ul>
灯油使用量の削減	菅井英治	<ul style="list-style-type: none"> <li>洗浄レス化の検討及び代替品の模索</li> <li>暖房使用時の温度管理の徹底</li> </ul>
車両燃料使用の削減	菅井英治	<ul style="list-style-type: none"> <li>アイドリングストップ啓蒙ポスターの掲示</li> <li>エコドライブ教育の実施 ・不要荷物の積載不可</li> <li>エアコン使用の自粛 ・燃費のチェックと管理</li> </ul>
水道使用量の削減	菅井英治	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道水の出しっぱなしの使用禁止、水量調整</li> <li>散水の禁止</li> <li>センサー式自動水洗の流量を絞る</li> </ul>

廃棄物排出量の削減	長橋修平	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リデュース、リユース、リサイクルの啓蒙と徹底</li> <li>・材料搬入用木製パレットの返却再利用</li> <li>・PPバンドの再利用の徹底</li> <li>・紙、段ボールのリサイクルセンター持ち込み</li> <li>・シュレッダーダストの緩衝材利用</li> <li>・加工不良品の削減</li> <li>・加工油の減量化及び再利用</li> <li>・脱脂剤の長期利用の検討</li> </ul>
グリーン購入	井上 法子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・備品購入時のエコマーク確認</li> <li>・非グリーン製品使用の管理</li> </ul>
化学物質使用量の削減	長橋修平	<ul style="list-style-type: none"> <li>・揮発防止の徹底</li> <li>・使用量、保管量の記録管理</li> </ul>
スクラップ（歩留率）の削減	長橋修平	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不良製品の削減</li> <li>・端材等の利用を検討する</li> </ul>

#### V. 環境活動計画の取組結果と評価、次年度の取組内容

活動項目	目標	実績	評価
電力使用量の削減 (KW/h)	347, 231	347, 113	・大幅な生産ミスはなかったせいか、目標を達成できた。
灯油使用量の削減 (L)	9, 728	9, 810	・洗浄装置ボイラーの不備が疑われる。が、様子を見る必要がある
車両燃料使用の削減 (L)	13, 257	12, 874	・燃料費高騰もあり、運行効率、更なるエコドライブを心掛ける必要がある。
廃棄物排出量の削減 (Kg)	9, 506	10, 912	・廃油に関してリデュース、リユース、リサイクルの意識が深まった結果と受け止めている。
総排水量の削減 (m3)	543	503	・節水意識が浸透してきたと思われる。
グリーン購入 (%)	30.35	28.25	・グリーンマークの入った商品が少ない。購入できる商品が限定されている
化学物質使用量の削減 (Kg)	349	540	・生産量に左右される。管理をしっかりとしていく。
スクラップ（歩留率） (%)	28.73	33.33	・原因は不明。大量な不良は無かったはず。
二酸化炭素排出量の削減 (Kg-CO2) (電力、灯油、車両燃料の使用合計で換算)	221, 887	219, 692	・生産ミスの少ない平常の生産体制では電気使用量が下がった。不良はすべてを悪化する

\*購入電力の排出係数は、東北電力0.469を使用しています。

### ◎次年度の取組内容

次年度は中期計画最終年度のため、今後の環境目標及び取組内容について、新たな中期計画を模索する年にしたいと思っております。色々な矛盾を感じる事はありますが、これまでの反省点を注視しながら環境経営を発展させていくつもりです。

### ◎環境負荷の推移

環境負荷項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度
二酸化炭素排出量 (Kg-CO2)	217,904	232,563	219,692
廃棄物排出量 (Kg)	11,774	7,115	10,912
総排水量 (m3)	509	434	503

### VI. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

平成26年3月21日 海谷環境管理責任者がチェック表に基づき遵守状況をチェックして問題がないことを確認しました。当社は、農村地帯に立地する事業所として今後とも排出水の水管理、浄化対策を徹底して行い、地域に決して迷惑をかけないように努力いたします。よって当社は、環境法規等の違反、訴訟はありません。尚、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

#### ◎当社に該当する主な環境関連法規

廃棄物の処理及び清掃に関する法律	浄化槽法
騒音規制法	振動規制法
化学物質排出把握促進法	消防法

### VII. 代表者による全体評価と見直しの結果

見直し会議実施日：平成26年1月25日（金）

会議参加者：田島社長、海谷環境管理責任者、環境リーダー3名

#### ・報告事項

- ①環境目標達成状況      ②環境活動計画の実施運用結果
- ③環境関連法規等の遵守状況      ④苦情・要望の有無

#### ・社長からの評価コメントと指示事項

- ① EAの活動により、みんなが金額ではなく、電気の使用量。材料の総使用量。と、言う感覚が、出てきたと思う。
- ② 前年の出てしまった、不良が経営と環境に与える影響がどれほど大きいか解ったと思う。
- ③ ルールを守ることの大切さを実感してもらいたい。整理、整頓。使わない電気は消す。温度の管理。
- ④ 中長期目標年度の今年を踏まえて、次年度中長期目標を考える。EA21は常に目標必達を要求しているわけではない。